



副院長あいさつ



副院長 医局長 内科部長
赤津 晋太郎

Nutrition Support Team (NST: 栄養サポートチーム) について

Nutrition Support Team (NST: 栄養サポートチーム) は、1968年、中心静脈栄養の開発・普及に伴い、米国において多職種で栄養管理を実践・支援するチーム医療の必要性が認識されるようになったのが始まりであります。そして、あらゆる医療行為や治療法はこのNSTという基本的医療体制を基盤として成り立っています。

しかし、わが国では、しばらく認知されませんでした。日本臨床栄養代謝学

会が2001年よりNSTプロジェクトを発足し、診療報酬上も2006年から栄養管理実施加算、2010年からは栄養サポートチーム加算が新設されました。当院では研修を受けたスタッフがそろい、2015年の秋から稼働開始しております。内科(A棟5階)及び外科系(A棟4階)において週1回の回診と定期的な会議・勉強会を行っております。メンバーは私及び看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリテーション(言語聴覚士)・医事課です。

NSTの主な目的としては①栄養管理が必要かの判断②栄養評価③適切な栄養管理がされているか④患者にとって最もふさわしい栄養管理法の指導・提言⑤栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見・治療⑥栄養管理上のコンサルテーション⑦栄養管理に関わる資材・素材を統一し一括管理⑧早期退院や社会復帰を助け、QOLを向上⑨新しい知識の啓発などです。

回診では各メンバーからの患者の拾い上げと介入開始。様々な基礎疾患を有しており、栄養状態を評価し、経口・経腸・経静脈栄養の選択や認知障害・嚥下障害の程度による食形態、嗜好や味覚異常の有無も考慮していきます。近年は亜鉛欠乏などでの薬剤の選択も可能となり、

様々な栄養補助食品も開発されております。

また嚥下機能評価のため嚥下造影を行いとろみの程度を決定し、必要であれば胃瘻造設も行っております。機器の導入も進め、電動昇降リフト式体重計での正確な体重測定が可能となりました。

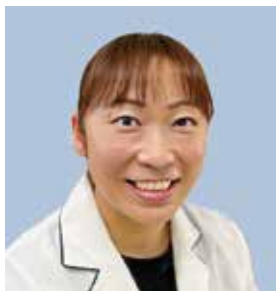
INBODY測定では次のような評価が可能です。①浮腫の指標(部位別水分量・細胞内液水分と細胞外水分の均衡度)②筋肉量の評価(四肢と体幹の部位別の発達具合)③肥満指標や基礎代謝の測定(栄養評価)を判定できる医療機器です。

保険算定可能で様々な疾患の治療効果の判定や栄養状態の評価に役に立つと考えております。ベッドサイドで簡単に検査可能で、侵襲もありませんので、積極的に検査の依頼をお願いします。

また、医療介護院にとろみサーバーを設置しました。様々なとろみの調整が可能です。塩ライチをはじめ数種類の味を取り揃えており、人の手では困難であった乳製品を含んだ飲料や炭酸飲料など好みの飲み物への均一な調整が可能となっております。

今後も栄養状態の改善による早期退院や褥瘡の改善・QOLに役立つように努めていきますので、よろしくお願いたします。

栄養科技師長あいさつ



栄養科技師長
永山 香奈

栄養管理について

当院の栄養科には管理栄養士3名が在籍し、多職種連携のもとNST活動や栄養ケアマネジメント業務、栄養食事指導を通して栄養管理業務を行っております。

皆さまご存知の通り人間の体は食物(栄養)でできており、栄養管理がいかに重要であるか、病気にならない身体づくり、病気の回復にいかに関与できるか日々努力を重ねております。

栄養科では、より多くの患者様の声をお聞きできるように病棟担当制をとっており、ちょっとした食事の工夫で喫食率がアップする患者様も多くいらっしゃいます。病棟スタッフとコミュニケーションを取りながら、患者様個人に合わせた、より良い栄養管理に努めています。

イベント食の提供にも力を入れており、委託給食会社の協力のもと、毎月工夫を凝らしたメニューを考案し、患者様の楽しみにつながるような食事提供を心がけています。

NST活動においても、活発な意見交換をしながら、カンファレンスを実施し、さまざまな場面でコメディカル、委託給食会社等のたくさんの方々のスタッフに関わることで、低栄養状態の改善や疾患に合わせた栄養管理を行うことができております。

糖尿病・脂質異常症・高血圧症等の患者様への食生活改善のお手伝いができるよう、外来栄養食事指導も随時実施しておりますので、お気軽にご相談いただければと思います。

栄養科紹介



入院・外来栄養食事指導

入院・外来の患者様を対象に、医師の指示のもと、個別栄養指導を行っています。
 (糖尿病・腎臓病・心臓病・脂質異常症・高血圧症・低栄養・がん・消化器術後等)

栄養サポートチーム (NST)

栄養科には NST 専門療法士が 2 名在籍しており、多職種連携のもと、栄養状態にリスクのある入院患者様を対象に、栄養介入を行っています。

サービス担当者会議

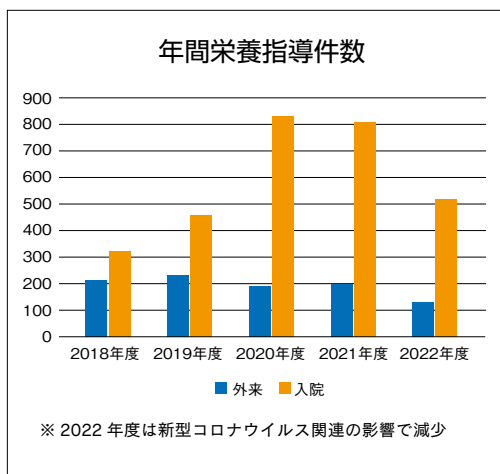
介護医療院では多職種連携のもと、定期的にサービス担当者会議を行い、栄養ケアマネジメントを実施し、利用者様の栄養管理を行っています。

食事提供

委託給食会社の協力のもと、個別対応を行い、より患者様・利用者様に合わせた食事提供に努めています。楽しみある食事の提供が行えるよう、イベント食の提供を定期的の実施しています。



栄養管理士による栄養指導の様子



InBody 測定

InBody とは、高性能な体成分分析装置で、身体の水分量・浮腫率・肥満度・姿勢バランス・部位毎の筋肉量・必要エネルギー量等を測定できる機器です。外来では主に血管外科の患者様を対象に浮腫率の経過を測定する媒体として、入院では介護医療院を中心に、栄養状態の経時変化を評価する媒体として使用しています。



管理栄養士による In Body 測定の様子



NST（栄養サポートチーム）特集

NST（栄養サポートチーム）とはどういうチームであるべきか



管理栄養士
NST 専門療法士
馬目 郁美

人は口から食べ物をとってそれを栄養として生きています。しかし、その当たり前のことが何らかの原因で出来ない、あるいは食べる量が減ってきた時どうすれば良いのでしょうか。

以前は食事摂取ができない、もしくは消化管の安静のために絶食が必要な患者様には、中心静脈栄養を行うことが当然とされてきました。しかし、近年はこのような経静脈栄養は消化管（腸）を使わないために腸内細菌のバランスが崩れ、腸管粘膜の委縮をきたし、免疫力の低下がみられることが分かってきました。

入院中の患者様にこういった事が起きた

場合、その原因や栄養状態の把握をし、適切な栄養投与（経口栄養の支援、経腸栄養、静脈栄養）によって全身状態の改善を行います。

NST は、病態管理をする医師、患者様のそばにいて一番患者様の状態を把握している看護師、薬の副作用・薬効・点滴などの管理をする薬剤師、摂食嚥下機能評価、訓練を行う言語聴覚士、栄養必要量や摂取量を評価し、嗜好や食事の調整、提供をする管理栄養士などの各専門スタッフがそれぞれの知識や技術を出し合い、最良の方法で栄養支援をするチームであると考えています。

薬剤師の視点から

栄養というと食事内容や食生活のイメージがあって、薬がすぐに結びつかないかもしれません。

例えば、栄養不足や経口摂取が難しい時に医薬品である栄養点滴や経腸栄養剤を使用しますが、疾患によっては使用できない場合もあります。医薬品による副作用などで栄養不足を生じることもあります。そのような場合に薬剤師が関わってきます。

栄養不足をきたす原因としてはさまざまなものが、とりわけ、食事量の低下の原因としては、吐き気があって食事が取れない、便秘による腹部膨満感で食欲が湧かない、

下痢のため経口拒否がある、傾眠があり日中の活動量が低下してしまい空腹感が低下する、味がわからないので食事をしたくない…など。患者様ごとの原因がありますが、薬剤師の視点から使っているお薬の副作用で起こっているのではないか、お薬で改善できることはないかを考えていきます。他職種の方と協力して症状の経過や程度を確認して薬剤の減量・中止、代替薬や追加の薬剤などの処方提案を行っています。

以前に「どんなに栄養のある食事でも食べてもらわないと意味がない」とおっしゃっていた栄養士さんがいました。お薬も同じで、正しく使わないと意味がありません。食事が取れない、食欲がない、など

の時は一度お薬の見直しや相談に対応していきたいと考えます。



薬剤部主任 薬剤師
NST 専門療法士
石井 妙恵

「すべてのひとを、笑顔にするために」



看護師 A3F 副主任
NST 専門療法士
横山 明美

NST（栄養サポートチーム）とは、低栄養状態の患者を対象に多職種の医療スタッフが協働して栄養管理を行う医療チームの事です。

私は、NST 専門療法士の資格取得以前から院内の NST 委員会に所属し活動していました。同時に外科・整形外科病棟で勤務している中で、要介護やフレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）の高齢者には低栄養状態の方が多く、患者にとって栄養を摂ることは全身状態や治療効果を左右させる重要な要素である事を痛感していました。

資格を取得することでより豊富な知識と実践的な技術を提供できるのではないかと

考え、日本臨床栄養代謝学会が認定する NST 専門療法士の資格を取得しました。

食事や栄養は、私達の生命を維持するうえでなくてはならないものです。闘病中の患者にとって栄養状態を良好に保つ事は、回復の促進、合併症予防、体力維持、早期退院の実現のために大きな役割を果たします。また、食事は人間の生活の中の楽しみでもあり、生活の質を高めるうえで重要です。

当院の基本理念である「すべてのひとを、笑顔にするために」、今後も NST 専門療法士としてまた、患者の声を一番に聞ける看護師としての強みを活かしながら活動をしていきたいと考えます。



7月：冷やし花麺（七タメニュー）



8月：冷やし中華

♪インフォメーション♪

第 21 回いわき南部地区在宅医療連携のつどい及び合同研修会のご報告

2023年2月9日、ハイブリッド形式で第21回いわき南部地区在宅医療連携のつどい及び合同研修会を開催することができました。開催にあたり感染対策を徹底して行われました。

顔の見える連携とまでは行きませんでした、会場に少数の方々とオンラインでの中継で開催ができたことは皆様のご協力があったことと感謝申し上げます。

今回は「コロナ禍のフレイル予防」と題して各職種のご協力があったことと感謝申し上げます。今回は「コロナ禍のフレイル予防」と題して各職種の代表にお話いただいた内容を事前にYouTubeで配信し、アンケートに答える形で行われました。

このたび新型コロナウイルス感染症は5類に分類されますが医療・介護従事者は、これまで通り感染対策を徹底して顔の見える連携を図って行ければと思います。秋頃には第22回を予定しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



研修会の様子



YouTube配信の様子



メディカルサロンすまいるカフェのご案内

今年の3月7日～メディカルサロンすまいるカフェを再開しております。

感染対策を徹底し、院長やコメディカルの講話、PTによるリハビリ体操等工夫して開催しておりますので、ぜひご参加下さい。年間スケジュールを掲載させて頂いておりますが、変更等もございますので、地域連携支援室 0246-62-3178 までお問い合わせ頂き、ご参加いただけますと幸いです。



リハビリ体操の様子



院長先生の講話の様子



メディカルサロン2023年度カレンダー予定表

○が予定です

2023	5	May	6	June
2023	1	2	3	4
2023	5	6	7	8
2023	9	10	11	12
2023	13	14	15	16
2023	17	18	19	20
2023	21	22	23	24
2023	25	26	27	28
2023	29	30	31	
2023	7	July	8	August
2023	1	2	3	4
2023	5	6	7	8
2023	9	10	11	12
2023	13	14	15	16
2023	17	18	19	20
2023	21	22	23	24
2023	25	26	27	28
2023	29	30	31	
2023	10	October	11	November
2023	1	2	3	4
2023	5	6	7	8
2023	9	10	11	12
2023	13	14	15	16
2023	17	18	19	20
2023	21	22	23	24
2023	25	26	27	28
2023	29	30	31	
2024	1	January	2	February
2024	1	2	3	4
2024	5	6	7	8
2024	9	10	11	12
2024	13	14	15	16
2024	17	18	19	20
2024	21	22	23	24
2024	25	26	27	28
2024	29	30	31	
2024	3	March		
2024	1	2	3	4
2024	5	6	7	8
2024	9	10	11	12
2024	13	14	15	16
2024	17	18	19	20
2024	21	22	23	24
2024	25	26	27	28
2024	29	30	31	

日程については変更の可能性もございますので地域連携支援室まで、お問い合わせ下さい。

メディカルサロンすまいる

日時：月1回 火曜日 14:30～15:30
場所：健康管理センター人間ドック控室

内容 病気のこと、食事のこと、趣味等、いろいろなことを気軽に話し、自由な時間をお過ごしいただけます。

参加対象者 がんと診断された方、治療を受けられている方、そのご家族、また、慢性疾患でお悩みの方など、どなたでも自由に参加できます。

申し込み方法 申し込み不要です。料金は無料です。上記の時間・場所にお集まりください。

※医師、看護師、ソーシャルワーカーなどのスタッフが参加します。

詳細は地域連携支援室までお問い合わせください。

お問い合わせ 呉羽総合病院 地域連携支援室
☎ 0246 - 62 - 3178 (直通)

地域連携支援室

- TEL. 0246 - 63 - 2181 【代表】内線 2161
- TEL. 0246 - 62 - 3178 【直通】
- FAX. 0246 - 62 - 2035
- E-mail renkei@kureha-hosp.com
- <https://www.kureha-hosp.jp/>

発行 社団医療法人呉羽会 呉羽総合病院
〒974-8232 いわき市錦町落合1番地-1
TEL. 0246-63-2181
FAX. 0246-63-0552
URL <https://www.kureha-hosp.jp/>
発行人 田中 稔
編集 地域連携支援室